



# 吉泉ひでお

●発行/国会事務所 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館423号室 TEL03-3508-7304

## 社民党再建プロジェクト 立ち上がる!!

民主党、党首選毎日報道されている。記者達にコメント求められる。「どちらが総理になったら社民党として受け入れやすいのか。」と、答えは決まっている。「誰が党首になっても社民党は国民に約束した三党合意33項目を具現化していく。その為に全力を尽くす。」

しかし、「政治とカネ」で3カ月前に辞職した小沢前幹事長の決意、そして菅総理とは旧社会党時代、阿部昭吾先生を通じながら知り合いの中でも、今、どんどん官僚に近づき「脱官僚、天下り」が形骸化されリーダーシップとれない現実、14日決まると言うが・・・それに比べて我が社民党、国民の支持を失い小さな政党に甘んじているが、今、真剣になって組織立て直していかないと国会議員、地方議員いなくなり社民党そのものが消滅してしまう。これまで全国常任幹事一人ひとりが危機意識持つてはいたが、本音で議論する場は少なかった。遅れたが先日の常任幹事会で議論になり「社民党再建プロジェクト」を立ち上げ組織建設に向けた方針を策定する事に決まった。そのメンバーに私も加わる事になった。第1回目の会合が9月15日である。私は各県、各市町村の状況、そして各県連にも再建チームを立ち上げ一体となって取り組む事が大事だと思っている。わが山形県は民主党国会議員4名、自治体議員31名、党员、サポーターが4ヶ台の勢力になっているのに、社民党は国会議員1名、地方議員23名、党员、協力党员3ヶ台と組織力の差が大きく開いている。数字では測りきれないと思うが現実である。統一地方選まで半年に迫り、何時、衆議院解散あつてもおかしくない状況が生まれている中で、社民党再建に向けて社民党を支持し応援して頂いている方々からも意見を聞きながら、早急に方針を決めていかなければならない。



執務室内会議質にて  
陳情対応



日本通運大黒町倉庫視察



ベトナム、タイ、ラオス  
農水事情調査議員団



山口県上関原発視察

青少年問題に関する特別委員会 （9月8日）

## 児童・幼児虐待問題について質問

児童・幼児虐待の問題について、私もこれで4回目の質問である。すでに各委員から、虐待防止を図るための様々な論点が出されている。虐待防止のために行政として何をすべきか、何が不足していたか、何をどうすればいいのかという点については、結論が近づいているように思う。大阪のようなショッキングなニュースが飛び込むと、我々もあたふたとしてしまうが、大切なことは、こうした事案から冷静に学習することだと思う。虐待が、この社会から無くなるとは思わない。しかし虐待を防止するための、行政機関のシステムはきちんと築いておかななくてはならない。その上で虐待が発覚した時、その虐待がなぜ起きたか、どうして防げなかったかを、国民の前に逐一明らかにし、不備だった点を改善してゆく、そうした学習能力が必要なのだと思う。このことを申し上げた上で、若干の質問をさせていただきたい。

未来を担う子どもたちへの虐待防止対策は、子ども権利条約の理念に基づいて、国家の最重要課題として位置づけるべきだ。しかし課題は多岐にわたっており、各省庁ごとの対応では限界がある。児童虐待防止対策を政府が包括的に所管し、省庁横断的に実施する拠点として、総理大臣を本部長とする「児童虐待防止本部」を設置する必要があるのではないか。荒井大臣の考えを聞きたい。



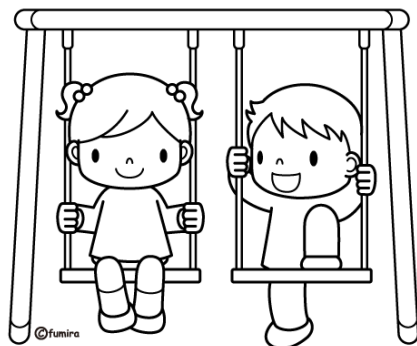


母子手帳を持たず、出産直前に医療機関に駆け込む「飛び込み出産」や住所不定の妊産婦など、虐待リスク要因をもつ母親に対しては、医療機関と市区町村両方のソーシャルワーカーが連携して、支援施設への入所や公営住宅の斡旋をしたり、生活保護費を支給するなど、適切なフォローを行うべきだ。厚労省の見解を聞きたい。

虐待を通報する側には、どうしても「虐待ではなかったらどうしよう」という心理が働くし、「報復されるのではないか」との恐れから、深刻な虐待事例ほど通報しない傾向があるとも聞く。これは虐待の通報を「犯罪の告発」と思っているからで、そこから必然的に「犯罪ではなかったらどうしよう」とか「巻き込まれたらどうしよう」という心理が働くのだと思う。このような心理から国民を解き放つためには、通報は「犯罪の告発」ではなく「親と子を救出すること」であり、よりよい社会をつくるための参加なのだという意識改革を進めることが必要だと思う。例えば「あなたの一言が、親子を救う」というようなキャッチフレーズで、マスメディアを通して意識改革のためのキャンペーンを積極的に行うべきだ。厚労省の見解はどうか。

厚労省から今のような答弁があつたが、荒井大臣のキャンペーンについての見解はどうか。

荒井大臣に政府公報を通じたキャンペーンへの支援をお願いし、質問を終わる。





# 山形3区新入党員歓迎交流会

9月5日1泊2日で開催された。この1年間で3区内で23名の新党員を迎えたが参加者は日曜日とあつて役員含めて19名と少ない中でも、有意義な交流会となった。会場は元社会党伊藤運輸大臣の出身地舟形町の「あゆっこ村」格安コテージであるが、新しくホテル並みである。「月山」「葉山」が一望され避暑地には最適である。全国連合より曾戸労働部長を招いて勉強会、夜はバーベキュー交流会である。「辻元議員の離党問題」「普天間問題」「社民党に入党して初めての選挙選、頑張ったのに組合員数より社民党得票数が少ない処もありがっかりした。」など議論は深夜延々と続く。山形3区では初めての企画であり、年2回から3回は必要と感じたし、他の総支部にも広げていきたい。



## 衆議院ベトナム、タイ、ラオス 農林水産事情調査議員団報告

8月24日から31日までベトナム、タイ、及びラオスに農水事情視察に行ってきました。その際の報告書を作成いたしましたので、ご希望の方は当国会事務所までご一報下さい。



●社民党・吉泉秀男支援する会  
年会費：2000円  
※郵便振替口座：0100-3-306401

口座名「社民党・吉泉秀男支援する会」

- 経済懇談会
- 労働懇談会



2010年の吉泉ひでおの活動をメールでお届けしています。

現在メール会員を募集中です。  
詳しくは

<http://www.hideo-y.org/>

吉泉ひでお

検索